



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東 大名

上場会社名 南海電気鉄道株式会社

コード番号 9044 URL <http://www.nankai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 亘 信二

問合せ先責任者 (役職名) 経理室経理部長

(氏名) 田内 信彦

TEL 06-6644-7145

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	44,244	△1.1	5,933	△4.1	4,087	△3.2	2,428	—
23年3月期第1四半期	44,716	3.2	6,189	15.2	4,224	32.1	△2,147	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,417百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △2,427百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.64	—
23年3月期第1四半期	△4.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	810,089	127,258	15.4
23年3月期	799,455	128,467	15.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 125,084百万円 23年3月期 126,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	89,800	△2.5	9,900	△15.2	5,900	△22.2	2,200	—	4.21
通期	195,900	5.2	18,800	△5.5	11,100	△3.2	6,100	99.7	11.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	526,412,232 株	23年3月期	526,412,232 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	3,619,620 株	23年3月期	3,610,966 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	522,797,148 株	23年3月期1Q	522,818,493 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は、終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しています。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 四半期決算補足説明資料	9
(1) セグメント情報（連結）	9
(2) 鉄道旅客収入及び輸送人員表（個別）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響による電力供給の制約のほか、海外経済の下振れや雇用環境の低迷が懸念されるなど、景気は依然として予断を許さない状況のまま推移いたしました。

このような経済情勢の下におきまして、当社グループでは当連結会計年度を初年度とする新たな中期経営計画「彙進130計画」を策定し、各種施策への取組みに着手いたしました。

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、東日本大震災の影響等により、運輸業が減収となったほか、不動産業において分譲マンションの販売が減少したこともあり、前第1四半期連結累計期間に比べ4億72百万円(1.1%)減少の442億44百万円となりました。また、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べ2億56百万円(4.1%)減少の59億33百万円、経常利益は前第1四半期連結累計期間に比べ1億36百万円(3.2%)減少の40億87百万円となりましたが、前第1四半期連結会計期間には、工事負担金等の会計処理方法を変更したことによりタックスプランニングを見直した結果、将来課税所得の減少に伴う繰延税金資産の取崩しがあったことから、前第1四半期連結累計期間に比べ、四半期純損益は45億76百万円改善し、24億28百万円の四半期純利益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業におきましては、沿線エリアの魅力発信と沿線外からの旅客誘致をはかるため、「京都アクセスきっぷ」や「関空アクセスきっぷ」等、他の鉄道事業者等とのコラボレーションによる各種企画乗車券の発売を積極的に推進いたしました。バス事業におきましては、旅客需要に適応した輸送体制の整備と事業の効率化を進める一方、深夜急行バス「中もす駅前～泉北ニュータウン線」を開設するなど、お客さまの利便性向上に努めました。しかしながら、東日本大震災や沿線就業人口の減少による影響もあり、運輸業の営業収益は前第1四半期連結累計期間に比べ6億45百万円(3.0%)減少の207億4百万円となり、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べ2億87百万円(9.1%)減少の28億64百万円となりました。

<不動産業>

不動産賃貸業におきましては、パークタワーをはじめ各物件において稼働率の維持向上に努めました。不動産販売業におきましては、南海くまどり・つばさが丘、南海林間田園都市・彩の台等で宅地及び戸建住宅の分譲を進めました。しかしながら、不動産販売業において分譲マンションの販売が減少したこともあり、不動産業の営業収益は前第1四半期連結累計期間に比べ6億55百万円(11.1%)減少の52億70百万円となり、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べ2億43百万円(12.0%)減少の17億78百万円となりました。

<流通業>

ショッピングセンターの経営におきましては、本年4月26日、なんばCITYのリニューアル工事が完成し、ファッション店舗を中心に86店舗がオープンいたしました。また、なんばCITY、なんばパークス及び周辺商業施設が共同で各種イベントを実施するなど、なんばエリア全体の賑わい創出と集客に努めました。物品販売業におきましては、新規店舗の開設やワゴン販売を強化するなど各種の増収策を講じたほか、昨年3月にオープンした「古道歩きの里ちかつゆ」において、イベントの開催や旅行代理店に対する宣伝・営業活動に注力するなど、お客さまの誘致に努めました。この結果、流通業の営業収益は前第1四半期連結累計期間に比べ2億6百万円(3.6%)増加の59億98百万円となり、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べ21百万円(4.1%)増加の5億47百万円となりました。

<レジャー・サービス業>

遊園事業におきましては、みさき公園において時季に適した催物や体験型イベントを開催するなど、ファミリー層を中心にお客さまの誘致に努めました。競艇施設賃貸業におきましては、住之江競艇場において、東日本大震災の影響により開催を見合わせていたナイトレースを再開するなど、来場者の誘致に努めました。ビル管理メンテナンス業におきましては、民間事業者のほか、地方公共団体等からの新規管理物件の獲得に注力いたしました。その他といたしましては、葬祭事業におきまして、堺市美原区において8号店となる葬儀会館「ティア美原」をオープンするとともに、堺市中区において9号店の建設工事を進めました。この結果、レジャー・サービス業の営業収益は前第1四半期連結累計期間に比べ12億13百万円(15.7%)増加の89億66百万円となり、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べ58百万円(33.1%)増加の2億35百万円となりました。

<建設業>

建設業におきましては、厳しい事業環境下にあったものの、受注工事高及び完成工事高が増加した結果、営業収益は前第1四半期連結累計期間に比べ2億6百万円(2.2%)増加の97億16百万円となり、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べ27百万円(5.8%)増加の5億4百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、営業収益は前第1四半期連結累計期間に比べ48百万円(16.1%)減少の2億51百万円となり、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べ8百万円(54.3%)減少の7百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部では、譲渡性預金等の有価証券の増加及び連続立体交差化工事の進捗による建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ106億33百万円増加の8,100億89百万円となりました。

負債の部では、借入金の返済がありましたが、社債の発行等により、前連結会計年度末に比べ118億42百万円増加の6,828億31百万円となりました。

純資産の部では、四半期純利益の計上による増加があったものの、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ12億8百万円減少の1,272億58百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末比で0.4ポイント低下し、15.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画どおり推移しており、前回発表時(平成23年4月28日)の連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,539	17,478
受取手形及び売掛金	16,709	16,075
有価証券	432	14,362
商品及び製品	28,224	29,452
仕掛品	2,462	565
原材料及び貯蔵品	2,145	2,138
その他	13,156	10,826
貸倒引当金	△109	△107
流動資産合計	81,562	90,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	340,866	338,203
土地	296,807	299,051
建設仮勘定	28,060	32,684
その他(純額)	19,980	18,899
有形固定資産合計	685,715	688,839
無形固定資産	2,443	2,371
投資その他の資産		
投資有価証券	17,629	16,179
その他	15,295	15,089
貸倒引当金	△3,190	△3,183
投資その他の資産合計	29,734	28,084
固定資産合計	717,893	719,296
資産合計	799,455	810,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,415	15,553
短期借入金	118,669	116,668
1年以内償還社債	20,000	40,000
未払法人税等	622	215
賞与引当金	2,112	946
その他	46,108	52,945
流動負債合計	205,927	226,327
固定負債		
社債	75,000	75,000
長期借入金	279,953	272,567
退職給付引当金	14,156	14,039
建替関連損失引当金	1,106	1,106
負ののれん	431	367
その他	94,413	93,423
固定負債合計	465,060	456,503
負債合計	670,988	682,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,739	63,739
資本剰余金	18,471	18,471
利益剰余金	24,058	23,873
自己株式	△1,289	△1,292
株主資本合計	104,979	104,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,228	283
繰延ヘッジ損益	△22	△34
土地再評価差額金	20,044	20,043
その他の包括利益累計額合計	21,250	20,292
少数株主持分	2,237	2,174
純資産合計	128,467	127,258
負債純資産合計	799,455	810,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	44,716	44,244
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	37,167	37,038
販売費及び一般管理費	1,359	1,272
営業費合計	38,526	38,310
営業利益	6,189	5,933
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	235	256
負ののれん償却額	99	63
雑収入	136	144
営業外収益合計	484	475
営業外費用		
支払利息	2,354	2,164
雑支出	95	156
営業外費用合計	2,449	2,320
経常利益	4,224	4,087
特別利益		
工事負担金等受入額	147	1,997
貸倒引当金戻入額	204	—
その他	102	6
特別利益合計	455	2,003
特別損失		
工事負担金等圧縮額	—	1,749
固定資産除却損	61	700
投資有価証券評価損	744	134
環境対策費	910	—
その他	291	72
特別損失合計	2,007	2,657
税金等調整前四半期純利益	2,672	3,433
法人税、住民税及び事業税	156	167
法人税等調整額	4,653	862
法人税等合計	4,810	1,029
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,138	2,404
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△24
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,147	2,428

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,138	2,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△263	△974
繰延ヘッジ損益	△25	△11
その他の包括利益合計	△288	△986
四半期包括利益	△2,427	1,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,417	1,470
少数株主に係る四半期包括利益	△9	△53

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計
営業収益							
(1)外部顧客への営業収益	20,927	5,626	5,679	5,718	6,738	25	44,716
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	422	299	112	2,034	2,771	273	5,913
計	21,349	5,926	5,791	7,753	9,509	299	50,629
セグメント利益	3,151	2,022	526	177	476	15	6,369

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,369
セグメント間取引消去	△179
四半期連結損益計算書の営業利益	6,189

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計
営業収益							
(1)外部顧客への営業収益	20,392	5,080	5,885	6,500	6,352	32	44,244
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	312	190	112	2,465	3,364	218	6,664
計	20,704	5,270	5,998	8,966	9,716	251	50,908
セグメント利益	2,864	1,778	547	235	504	7	5,937

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,937
セグメント間取引消去	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	5,933

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成23年7月29日
南海電気鉄道株式会社

4. 四半期決算補足説明資料

(1) セグメント情報 (連結)

	営業収益			セグメント利益(営業利益)		
	22年6月期	23年6月期	増減率	22年6月期	23年6月期	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運 輸 業	21,349	20,704	△3.0	3,151	2,864	△9.1
不 動 産 業	5,926	5,270	△11.1	2,022	1,778	△12.0
流 通 業	5,791	5,998	3.6	526	547	4.1
レジャー・サービス業	7,753	8,966	15.7	177	235	33.1
建 設 業	9,509	9,716	2.2	476	504	5.8
そ の 他 の 事 業	299	251	△16.1	15	7	△54.3
合 計	50,629	50,908	0.5	6,369	5,937	△6.8
調 整 額	△5,913	△6,664	—	△179	△4	—
四半期連結損益計算書計上額	44,716	44,244	△1.1	6,189	5,933	△4.1

(2) 鉄道旅客収入及び輸送人員表 (個別)

		22年6月期	23年6月期	比較増減率
旅 客 収 入		百万円	百万円	%
	定 期 外	7,384 (800)	7,111 (716)	△3.7 (△10.6)
	定 期	5,917 (287)	5,821 (276)	△1.6 (△3.9)
	合 計	13,301 (1,088)	12,932 (992)	△2.8 (△8.8)
輸 送 人 員		千人	千人	%
	定 期 外	21,801 (963)	21,055 (857)	△3.4 (△11.0)
	定 期	36,537 (905)	36,180 (865)	△1.0 (△4.4)
	合 計	58,338 (1,868)	57,235 (1,722)	△1.9 (△7.8)

- (注) 1. 輸送人員は千人未満を四捨五入で表示しております。
2. 旅客収入は荷物収入を除いております。
3. () 内は、空港線の数値を内数で表示しております。